

平成11年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成11年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成11年11月30日(火)～12月1日(水)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者30名、委託関係者84名ほか、計124名の参集を得て、除草剤36薬剤

(319点)、生育調節剤4薬剤(22点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成11年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除 草 剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 水和剤 (ダブアルファ) シクロスルファミロン 10% [日本サイナミック]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H10秋→H11春→H11秋→H12春 芝生育期 0.4 g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実 [(コライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ～発生前(3葉期まで). ・ 0.2～0.4g<200～250>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
2. DAA-982 水和剤 エトキシスルフォン 10% ジチオビル 20% [大日本イネ 化学工業]	コライシバ ノシバ	適用性 新 規 適用性 新 規	小杉CC、 浜松シサイトGC、 中国G連G研、 今治CC、 門司GC (5) 東蔵王GC、 江戸崎CC、 甲府国際CC、 中国G連G研、 今治CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; フローバビエー水和剤	継 継	継) ・ 効果、薬害の確認.
3. DAH-981 水和剤 ジチオビル (製剤変更) 40% [大日本イネ 化学工業]	コライシバ ノシバ ブー グラス ライグラス コライシバ ・ノシバ	適用性 継 続 適用性 継 続 適用性 新 規 適用性 新 規 実 証	小杉CC、美浦GC、 リバー富士CC、 タイガースGC、 宮崎CC (5) 植調岩手、佐野GC、 南長野GC、 東広野GC、 佐賀CC (5) 札幌後楽園CC、 札幌不二ロイヤルGC、 泉パークランドGC (3) 泉パークランドGC、 フタバサカゲーション、 ウィンク F GC (3) 東蔵王GC、 中国G連G研、 久山CC (3)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.05, 0.075, 0.1 g<200-300> ; 土壌処理 ; ティクトラン乳剤 0.1ml<200-300> フローバビエー水和剤 0.1 g<200-300> [一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.075 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.05～0.1g<200～300>. ・ 土壌処理. 継) ・ コライシバ、ノシバの連用試験(春; 0.1g、秋:0.2g)での確認. ・ ケンタッキーブルーグラス、ライグラスの効 果、薬害の確認. ・ ケンタッキーブルーグラス、ライグラスの倍 量薬害試験での確認. ・ ケンタッキーブルーグラスの連用試験で の確認.

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. DEH-118 顆粒水和剤 イソキサベン 60% Florasulam 4%	ソバ	作用性 新 規 (10年 度)	＜中国G連G研＞ (1)	[広葉雑草] 雑草発生初期 0.03, 0.05, 0.1, 0.2 g ＜150-200(展着剤加用)＞ ; 土壌処理 ; 一	実 ・ 継 継	実) [(コライシバ ⁺ 、ソバ ⁺) 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.03~0.05g<150~200>. ・ 土壌処理. ・ 実証試験での確認.
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[連用薬害] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生初期 ; 0.1 g<150-200(展着剤加用)＞ ; 土壌処理 ; 一任		
	ソバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)			
	コライシバ	適用性 継 続	泉パ ⁺ ークタウンGC、 美野里GC、総武CC、 中国G連G研、 宮崎CC (5)	[広葉雑草] 雑草発生初期 0.03, 0.04, 0.05 g ＜150-200(展着剤加用)＞ ; 土壌処理 ; イン ⁺ ール水和剤 0.3 g<200>		
[タ ⁺ ウ・ケミカル日本]	ソバ	適用性 継 続	植調岩手、 江戸崎CC、 奥武蔵CC、久山CC、 祁答院GC (5)			
5. DEH-94T01 ゾル剤 オキサリン 40.4%	コライシバ	実 証	小杉CC、 美浦GC、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2ml<150-200> ; 土壌処理 ; 一任	実	実: [(コライシバ ⁺ 、ソバ ⁺) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.2~0.4ml<200>. ・ 土壌処理.
6. DH-81 粒剤 ジチオセ ⁺ ル 0.16%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 25 g ; 土壌処理 ; デ ⁺ イクトラン乳剤 0.15ml ＜200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ ⁺ 、ソバ ⁺) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 15~25g. ・ 土壌処理. ・ 連用試験の継続.
	ソバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)			
7. DTH-85 水和剤 (グリヤト ⁺) テニクロール 50%	コライシバ (養成 芝)	適用性 継 続	茨城農総園研、 兵庫農技、 鳥取園試 (3)	[一年生イネ科雑草 ; 低薬量による養成芝への拡大] 雑草発生前 0.1, 0.2, 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ ⁺ 、ソバ ⁺) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.3~0.5g<200~300>. ・ 土壌処理. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 養成芝での効果、薬害の確認.
8. ESH-01 水和剤 (ベ ⁺ ネフィス 顆粒水和剤) ヘ ⁺ スロジン 58%	コライシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)	[4倍量薬害] 雑草発生前 1.4 g<500-600>、 2.8 <1,000-1,200> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(コライシバ ⁺ 、ソバ ⁺) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.5~0.7g<200~300>. ・ 土壌処理.
	ソバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	那須ナ ⁺ セー (1)	[連用薬害] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前 0.7 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ソバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)			
[住友商事]						

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
9. FN-501 顆粒水和剤 (旧FDH-501) カルフェントラゾンエチル 50% [エフ・エム・シー、 日産化学工業]	コウライシバ ・ノシバ	実 証	東日本G研、 西日本G研 (2)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期(4葉期まで) 0.02 g<200-300> ;茎葉処理 ;一任	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草] ・芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・0.015~0.02g<100~200>. ・展着剤加用. ・茎葉処理. 継) ・倍量薬害試験での確認.
10. FU-176 水和剤 (トウクグリーン水和剤) 8-ヒドロキシノリソル 80% [アグロカネショウ]	ヘント グラス	実 証	小杉CC、 東日本G研 (2)	[藻類] 藻類の発生前~発生初期に 5~10日間隔の2回散布 1 g<300>、 2.5 <500> ;茎葉処理 ;一任 (グリーン又はグリーンに準ずる、 できるだけ試験区を大きく)	実	実) [(ヘントグラス)藻類] ・芝生育期、藻類発生前. ・10~14日間隔の2回処理. ・2.5g<200~300>. ・土壌処理.
11. HOK-9801 水和剤 イソキサベン 5% デニロクロール 50% [トクヤマ、 北興化学工業]	コウライシバ ノシバ	適用性 新 規 適用性 新 規	那須ナセリー、 新沼津CC、 大阪農技セ、 中国G連G研、 今治CC、 西日本G研 (6) 植調研究所、 那須ナセリー、 リバー富士CC、 大阪農技セ、 中国G連G研、 西日本G研 (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200> ;土壌処理 ;7IIフロアブル剤 0.3ml<200>	継 継)	継) ・効果、薬害の確認.
12. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシメゾロン 60% [アグロホージャパン、 大日本インキ 化学工業]	コウライシバ ノシバ ヘント グラス ブルー グラス ライグラス	適用性 継 続 適用性 継 続 適用性 継 続 適用性 新 規	フアラッシュ・デーン、 東日本現地、 奥武蔵CC、 新沼津CC、桑名CC、 佐賀CC (6) グリーン・グレイヤー、 小杉CC、 ウイング FGC、 甲府国際CC、 東広野GC、 西日本G研 (6) 青森CC、大月CC、 南愛知CC、 中国G連G研 (4) 札幌後楽園CC、 廣済堂札幌CC、 札幌不二ロイヤルGC、 青森CC、 泉パークタウンGC (5) 東蔵王GC、 <フアラッシュ・デーン>、 那須ナセリー、 祁答院GC (4)	[一年生広葉雑草;低薬量によ る処理時期の拡大] 雑草発生前 ;0.015、0.0225、0.03 g <200-300> ;土壌処理 ;ターザイン水和剤 0.04 g<200-300>	実・ 継 継)	実) [(コウライシバ、ノシバ、ヘントグラス、 ブルーグラス)広葉雑草、ハマスゲ、ヒメク グ] ・芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・広葉雑草 0.03~0.06g、 ハマスゲ、ヒメクグ 0.045~0.075g、 <200~300>. ・土壌処理. 継) ・雑草発生前処理における効果 の確認. ・ライグラスでの処理時期、薬量、 薬害試験.

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
13. HW-T62 水和剤 (ベンホーフル水和剤) DCBN 50% [保土谷アグロス]	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[連用薬害] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前または発生初期 (雑草、2-3葉期) 1.0 g<200> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コウライシハ、ノシバ) 広葉雑 草、スギナ、ヒメクサ] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ～発生初期(3葉期まで). ・ 1～2g<150>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
14. JTH-101 液剤 (キャンベリコ液剤) ザントモナス キャンベストリス (2×10 ¹¹ 個/ml) [日本たばこ産業]	ブルー グラス	実 証	札幌後楽園CC、 クークCC (2)	[スズメノカタビラ] 芝刈り直後 0.2ml<200> ; 茎葉処理 ; 一	実	実) [(コウライシハ、ベントグーラス、ケンタッキ ーブルーグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期(春～夏期)、 スズメノカタビラ生育期. ・ 0.2<200>～0.4<400>ml <1,000倍液>. ・ 芝刈りやサッチング等の後の茎葉 処理.
15. KUH-913H フロアブル剤 ビスピリバクナトリウム塩 9.2% [タミイ化学工業]	ノシバ	適用性 新 規	植調岩手、 東日本現地、 小杉CC、 植調研究所、 花屋敷GC (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 0.1、0.15、0.2ml<150> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75ml<150>	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
16. KUH-999 顆粒水和剤 カフェンストロール レナシル 50% 15% [タミイ化学工業]	コウライシバ ノシバ	適用性 新 規 適用性 新 規	ブラッサムカーテン、 東日本現地、 佐野GC、タイガースGC、 中国G連G研 (5) 東日本現地、 美野里GC、 南長野GC、 花屋敷GC、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 ②雑草発生初期 0.2、0.3、0.4 g<250-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和剤 0.2 g<250-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
17. MAC-1 フロアブル剤 グリムロン 45% [丸紅]	ベント グラス (効果・ 薬害) ブルー グラス (効果・ 薬害) ベント グラス (連用) ブルー グラス (連用) ベント グラス 新 規 ブルー グラス 新 規	作用性 新 規 作用性 新 規 作用性 新 規 作用性 新 規 適用性 新 規 適用性 新 規	青森CC、 那須ナセー (2) 青森CC、 東日本現地、 那須ナセー (3) 那須ナセー (1) 植調北海道、 那須ナセー (2) 大月CC (1) 廣済堂札幌CC、 札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC、 グリーンフライヤー、 那須ナセー (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビ ラ)及び一年生ガウラギサ科雑草] 春期スズメノカタビラ発生前 0.5、0.75、1.0、1.5、2.0ml <200-300> ; 土壌処理 ; 一任 [連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 [一年生イネ科雑草(スズメノカタビ ラ)及び一年生ガウラギサ科雑草] 雑草発生前 0.5、0.75、1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; エケソ水和剤 1.5 g<200-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認.

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
18. MBH-98 水和 イネキサベン 30% オキサジメチル 30% 〔丸和パ・イカミカル〕	コウライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 那須ナセリー、 奥武蔵CC、 東日本G研、 大月CC、 中国G連G研、 西日本G研 (7)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.15 g<200-300> ; 土壌処理 ; パナフィン® DF 0.6 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コウライシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.075~0.15g<200~300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
		適用性 新 規 (10年 度)	<西日本G研> (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.15g<200-300> ; 土壌処理 ; グラトップ® 水和剤 0.2 g<200-300>		
19. NC-380 顆粒水和剤 (セットアップ® DF) トリアゾファミ 30% ハロスフロメチル 30% 〔出光興産、 日産化学工業〕	コウライシバ	適用性 継 続	東日本現地、 ウイング FGC、 リバー富士CC、 桑名CC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.15 g<200-300> ; 土壌処理 ; イデトップ® フロア® 剤 0.1 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.075~0.15g<200~300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	グリーンアップレイヤー、 総武CC、 リバー富士CC、 花屋敷GC、 久山CC (5)			
20. NCH-94 顆粒水和剤 (サンシールト® DF) カフェンストロール 50% ハロスフロメチル 10% (剤型変更) 〔永光化成、 日産化学工業〕	コウライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 ウイング FGC、 新沼津CC、桑名CC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; NCH-94水和剤 0.3 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。
	ノシバ	適用性 新 規	グリーンアップレイヤー、 茨城農総園研、 総武CC、 甲府国際CC、 花屋敷GC (5)			
21. NH-502 水和剤 (トレビ® エス水和剤) インダ® ノファン 50% 〔トレビ® エス連絡会 ; 三菱化学〕	コノテガシ ワ、ツツシ 類 他3種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総園研 (2)	[緑化木に対する影響] ①茎葉処理 0.3 g<200-300> ②土壌処理 0.6 g<200-300> ; 無処理	実	(前回判定どおり) 実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.3g<200~300>。 ・ 土壌処理。
22. NP-63 液剤 メコップ® P 52% (つづく)	コウライシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 那須ナセリー (2)	[4倍量薬害] 雑草生育期 0.5<200>、1.0<400>、 2.0ml<800> ; 茎葉処理 ; 一任	実	実: [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキー® ルー ーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期。 ・ 0.25~0.5ml<200>。 ・ 茎葉処理。
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 那須ナセリー (2)			
	ブルー グラス (倍量)	作用性 継 続	札幌国際CC、 植調北海道 (2)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容	
22. NP-63 液剤 (つづき) [日本曹達]	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 奥武蔵CC、 関西G研 (3)	[広葉雑草] 雑草生育期 0.25ml<200(展着剤加用)> ;茎葉処理 ; NP-63液剤 0.25ml <200(展着剤無加用)>			
	コウライシバ	実 証	小杉CC、佐野GC、 門司GC (3)	[広葉雑草] 雑草生育期 0.375ml<200> ;茎葉処理 ; 一任			
	ノシバ	実 証	小杉CC、佐野GC、 門司GC (3)				
	ブルー グラス	実 証	廣済堂札幌CC、 札幌芙蓉CC、 グリーンファイヤー (3)				
23. RGH-965 顆粒水和剤 アラクロール (剤型変更) 65%	コウライシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[4倍量薬害] 雑草発生前 0.8 g<200-300>、 1.6 <400-600>、 3.2 <800-1,200> ;土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ブルーグラス) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.4~0.8ml<200-300>。 ・ 土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認。	
	ノシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)				
	ブルー グラス (倍量)	作用性 新 規	植調北海道、 那須ナセー (2)				
	コウライシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 0.8 g<200-300> ;土壌処理 ; 一任			
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)				
	ブルー グラス (連用)	作用性 新 規	植調北海道、 那須ナセー (2)				
	コウライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 美浦GC、 新沼津CC、 南愛知CC、 中国G連G研、 佐賀CC (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.4、0.6、0.8 g<200-300> ;土壌処理 ;コウライシバ、ノシバ ランレイ乳剤 1.2ml<300> ブルーグラス バナフィン顆粒水和剤 0.6 g<250-300> (ハブーシ乳剤 0.8ml<300>)			
	ノシバ	適用性 新 規	泉パークタウンGC、 茨城農総園研、 美野里GC、 甲府国際CC、 関西G研、 門司GC (6)				
	ブルー グラス	適用性 新 規	札幌後楽園CC、 札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC、 植調研究所 (4)				
[理研グリーン]							

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
24. RH-315N 水和剤 (クサゴン水和剤) ハロスルフロニメチル 10% プロピサミド 40% 〔アグリート〕	コウライシバ (倍量)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)	〔4倍量薬害〕 雑草発生前 0.6 g<400-600>、 1.2 <800-1,200> ; 土壌処理 ; クサゴン水和剤0.3 g<200-300>	実・ 継	実)〔コウライシバ、ノシバ〕 一年生雑草 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.3g<200-300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験の継続。
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)			
	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	那須ナセー、 東日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	那須ナセー、 東日本G研 (2)			
25. RYH-105 フロアフル剤 (フルハスフロアフル) オキサジクロメボン 30% 〔ロース・ブーラン 油化アグロ〕	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H10秋→H11春→H11秋→H12春 雑草発生前 0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実)〔コウライシバ、ノシバ〕 一年生イネ科雑草 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.1~0.2ml<200~300>。 ・ 土壌処理。 継: ・ コウライシバでの連用試験の継続。
26. SB-5481 水和剤 新規化合物 60% 〔エス・デー・イー・エス バイオテック〕	コウライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)	〔雑草全般〕 雑草発生前 0.3、0.6 g<200-250>、 1.2 <400-500>、 2.4 <800-1,000> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.5 g<200-250>	継	継) ・ 成分未公開。 ・ 効果、薬害の確認。
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 西日本G研 (2)			
	コウライシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 0.45 g<200-250> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.5 g<200-250>		
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コウライシバ (適用性 新 規)	適用性 新 規	東日本現地、 植調研究所、 奥武蔵CC、 大阪農技セ、 鳥取園試 (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.3、0.45、0.6 g<200-250> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.5 g<200-250>		
	ノシバ (適用性 新 規)	適用性 新 規	東日本現地、 那須ナセー、 奥武蔵CC、 南愛知CC、 鳥取園試 (5)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
27. SL-160 粒剤 フラザ・スルフロ 0.1%	コウライシバ (倍量) ノシバ (倍量) コウライシバ (連用) ノシバ (連用) コウライシバ ノシバ	作用性 継 続 作用性 継 続 作用性 継 続 作用性 継 続 適用性 継 続 適用性 継 続	植調研究所、 宇都宮大学 (2) 植調研究所、 宇都宮大学 (2) 関西G研 (1) 東日本G研 (1) 奥武蔵CC、 佐賀CC (2) 奥武蔵CC、 佐賀CC (2)	[4倍量薬害] 雑草発生前 24 g ; 土壌処理 ; 一任 [連用薬害] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前 8 g ; 土壌処理 ; 一任 [ハマスゲ] 雑草発生前 5, 6, 8 g ; 土壌処理 ; 一任	実	実[(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草、ヒメクダ]・ ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 一年生雑草 4~6g、 ヒメクダ 5~8g。 ・ 土壌処理。
[石原産業]						
28. SW-981 水和剤 エトキシスルフロ 8% カフェンストール 50%	コウライシバ ノシバ ノシバ	適用性 継 続 適用性 継 続 実 証	東日本現地、 美野里GC、 美浦GC、 桑名CC、 宮崎CC (5) 東日本現地、 総武CC、 南長野GC、 タイカースGC、 久山CC (5) 小杉CC、 奥武蔵CC、 門司GC (3)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; プロービティ水和剤 0.2 g<200-300> [一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果 の確認。 ・ 連用試験での確認。
[三共]						
29. SW-989◎ 粒剤 エント・タール2カリウム塩 3.54% (エント・タール酸 2.5%) (製剤変更)	ブルー グラス	適用性 新 規	グリーン・ライヤ、 東日本現地 那須ナセリー、 東日本G研 (4)	[一年生雑草 (主にスズメノカタビラ)] 雑草生育初期~生育期 15, 20 g ; 茎葉処理 ; 一任	継	継) ・ 効果、薬害の確認。
[三共]						
30. TG-02 粒剤 トリフルリン 0.67% ヘスロジン 1.33%	コナカシ ワ、ツツジ 類 他3種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総園研、 (2)	[緑化木に対する影響] 茎葉処理(樹上処理) 20, 30 g ; 無処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 10~20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ ノシバにおける連用試験での確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
[東洋グリーン、 タケケミカル日本]						

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
31. TG-03 粒剤 オキサリ ン ベスロジン 1.0% 1.0% 〔東洋グリーン、 タケカミカル日本〕	コナカシ リ、ツツジ 他 3 種	緑化木	茨城農総園研、 鳥取園試 (2)	〔緑化木に対する影響〕 茎葉処理(樹上処理) 20,30 g ; 無処理	実 ・ 継	実) 〔コウライシバ [®] 、ノシバ [®] 一年生雑草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 10～20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ ノシバ [®] における連用試験での確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	コウライシバ	適用性 継 続 (10年 度)	<今治CC> (1)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 10,15,20g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤 16g		
32. TH-913H4 フロアブル剤 イマゾスルフロ ン (製剤変更) 40% 〔武田薬品工業〕	コウライシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 東日本G研 (2)	〔4倍量薬害〕 雑草生育初期 0.2ml<200-300>、 0.4 <400-600>、 0.8 <800-1,200> ; 茎葉処理 ; 一任	実 ・ 継	実) 〔コウライシバ [®] 、ノシバ [®] 、ケンタッキー ・ルーグラス [®] 一年生広葉雑草、ヒメクダ [®] 〕 ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで)。 ・ 0.1～0.2ml<200-300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ケンタッキー・ルーグラス [®] における効 果、薬害の年次変動について。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	東日本G研 (1)			
	ブルー グラス (倍量)	作用性 新 規	植調北海道、 那須ナセー (2)	〔4倍量薬害〕 雑草生育初期 0.2ml<300>、 0.4 <600>、 0.8 <1,200> ; 茎葉処理 ; シバタイトフロアブル剤 3.2ml<200-300>		
	コウライシバ	適用性 継 続	東蔵王GC、 東日本現地、 中国G連G研 (3)	〔一年生広葉雑草〕 雑草発生初期(3葉期まで) 0.1,0.15,0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; コウライシバ [®] 、ノシバ [®] シバタイトフロアブル剤 0.8ml<200-300> ブルーグラス インパール水和剤 0.3ml<200-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	東蔵王GC、 東日本現地、 中国G連G研 (3)			
	ブルー グラス	適用性 新 規	札幌後楽園CC、 廣済堂札幌CC、 札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC (4)			
33. TT-9 乳剤 既知化合物 60% 〔トクヤマ、トーマン〕	コウライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 0.4,0.8,1.6ml<200-300> ; 土壌処理 ; ウエイアップフロアブル剤 0.4ml<200-300>	継	継) ・ 成分未公開。 ・ 効果、薬害の確認。
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 新 規	小杉CC、美野里GC、 ウイング F GC、 兵庫農技、 西日本G研 (5)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 0.4,0.6,0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; ウエイアップフロアブル剤 0.4ml<200-300>		
	ノシバ	適用性 新 規	小杉CC、 南長野GC、 浜松シーサイド [®] GC、 関西G研、 西日本G研 (5)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
34. YH-592 水和剤 カフェストロール 60% シノスルフロン 5%	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	[連用薬害] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.2~0.3g<200-300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)			
	コウライシバ	適用性 継 続	佐野GC、 浜松シサイトGC、 兵庫農技、 久山CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.25、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアブル剤 0.4 g<200-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	佐野GC、 浜松シサイトGC、 東広野GC、 祁答院GC (4)			
[八州化学工業]	コウライシバ ・ノシバ	実 証	小杉CC、 佐野GC、 奥武蔵CC、 門司GC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアブル剤 0.4 g<200-300>		
35. プロシアン 顆粒水和剤 (クサブロッカ) プロシアン 63%	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.12 g<250-300> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	(前回判定どおり) ・ 実: [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス、ベントグラス、バミューダグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 一年生雑草対象; 0.12~0.24g、 一年生イネ科雑草対象; 0.06~0.1g、 <200~250>. ・ 土壌処理. 注) ・ベントグラスはグリーンを除く. ・ 雑草の発生の多い場所での の使用は注意する. 継: ・ ノシバにおける連用試験の継続. ・ コウライシバ、ベントグラス、ケンタッキー ブルーグラス、バミューダグラスにおけ る連用試験での確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認. (フロアブル剤が顆粒水和剤どちら かで実施.)
[ノバルティスファーマ]						
36. プロシアン肥料 粒剤 (テマックス) プロシアン 0.24% (N:P:K=8:8:8)	ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC由仁、 苫小牧CC、 クランクCC (3)	[スズメノカタビラ] 雑草発生前 ① 4月下旬、② 7月下旬 10、15、20 g ; 土壌処理 ; プロシアン水和剤 0.038 g<200>	実 ・ 継	実: ・ [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 30~60g. ・ 土壌処理. 注) ・ 雑草の発生の多い場 所での使用は注意する. [(ケンタッキーブルーグラス; 北海道) スズメノカタビラ増殖防止] ・ 芝生育期、 スズメノカタビラ発生前. ・ 10~20g. ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験での確認. ・ 倍量薬害試験での確認.
[アメニテック、 日産化学工業]						

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AS-1 液剤 5-ニトロク ⁺ アヤコ ⁻ ルナトリウム 0.1% オルソニトロフェノ ⁻ ルナトリウム 0.2% パ ⁻ ニトロフェノ ⁻ ルナトリウム 0.3% [旭化学工業]	ベ ⁻ ント グ ⁻ ラス	適用性 継 続	奥武蔵CC、 総武CC、 祁答院GC (3)	[更新後のターフ回復促進] 更新直後と更新後7日の2回散布 ; 2,000、1,000倍液<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	継 続)	・ 効果の確認。
	ベ ⁻ ント グ ⁻ ラス	適用性 継 続	東日本現地、 那須ナ ⁻ セリー、 奥武蔵CC、 総武CC、 祁答院GC (5)	[夏場の活力維持と回復] ①7/下、8/中、9/上の3回散布 ②7/下、8/上、8/中、8/下、9/上 の5回散布 ; 2,000、1,000倍液<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	実 実)	〔(ベ ⁻ ントグ ⁻ ラス) 夏場の活力維持] ・ 夏期(7月下旬より約10日 間隔で反復処理、3~5回). ・ 2,000~1,000倍<1,000>. ・ 散布.
2. CG-186 マイク ⁻ ロエ ⁻ ルシ ⁻ ョン剤 トリネ ⁻ サ ⁻ バ ⁻ ク ⁻ エチ ⁻ ル 12% (製剤変更) [ノ ⁻ ルティス ア ⁻ グ ⁻ ロ]	コウライシ ⁻ バ ⁻	適用性 継 続	小杉CC、江戸崎CC、 門司GC (3)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期(5/中~6/上) 0.05、0.08、0.1ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プ ⁻ リ ⁻ WSB水和剤 0.04 g<150-250>	実 実)	〔コウライシ ⁻ バ ⁻ 、ノ ⁻ シ ⁻ バ ⁻ 〕生育抑制 効果による刈込み軽減] ・ 生育期. ・ 0.05~0.1ml<150-250>. ・ 散布.
	ノ ⁻ シ ⁻ バ ⁻	適用性 継 続	江戸崎CC、 東広野GC、 中国G連G研 (3)			
3. CG-186 水和剤 (プ ⁻ リ ⁻ WSB水和剤) トリネ ⁻ サ ⁻ バ ⁻ ク ⁻ エチ ⁻ ル 25% [ノ ⁻ ルティス ア ⁻ グ ⁻ ロ]	ベ ⁻ ント グ ⁻ ラス	適用性 継 続	青森CC、 グリーン ⁻ ライ ⁻ ヤ ⁻ 、 大月CC、 中国G連G研 (4)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育最盛期 0.04、0.06、0.08g<150-250> ; 茎葉処理 ; 無処理	実 実)	〔コウライシ ⁻ バ ⁻ 、ノ ⁻ シ ⁻ バ ⁻ 、ケンタッキー ⁻ ブ ⁻ ル ⁻ グ ⁻ ラス、 バーミュー ⁻ グ ⁻ ラス、ベ ⁻ ントグ ⁻ ラス〕生育抑制効果による刈込み軽減] ・ 生育期. ・ コウライシ ⁻ バ ⁻ 、ノ ⁻ シ ⁻ バ ⁻ 0.02~0.04g<150>、 ケンタッキー ⁻ ブ ⁻ ル ⁻ グ ⁻ ラス 0.04~0.06g<150>、 バーミュー ⁻ グ ⁻ ラス 0.03~0.06g<150>、 ベ ⁻ ントグ ⁻ ラス 0.04~0.08g<150~250>. ・ 散布. 継 続) ・ ケンタッキー ⁻ ブ ⁻ ル ⁻ グ ⁻ ラス、バーミュー ⁻ グ ⁻ ラスに対する反復処理の効果、薬害の確認. ・ 各芝種における連年処理の確認.
4. KUH-833FH フロア ⁻ ブル ⁻ 剤 (ビ ⁻ オ ⁻ ック) プ ⁻ ロヘキシ ⁻ ン ⁻ オ ⁻ ル ⁻ シ ⁻ ウム塩 25% [ク ⁻ イ ⁻ イ ⁻ 化学工業]	ブ ⁻ ル ⁻ グ ⁻ ラス	適用性 新 規	札幌国際CC、 廣済堂札幌CC、 札幌美蓉CC、 那須ナ ⁻ セリー (4)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育最盛期 0.04、0.06、0.08ml<200> ; 茎葉処理 ; プ ⁻ リ ⁻ WSB水和剤 0.04 g<200>	実 実)	〔コウライシ ⁻ バ ⁻ 、ノ ⁻ シ ⁻ バ ⁻ 〕生育抑制 効果による刈込み軽減] ・ 生育期. ・ スポ ⁻ ーツ ⁻ ターフ等刈込み回数の多い 場合 0.04~0.08→0.04~0.08g <200>、 ラフ、公園、堤とう等刈込み回数 の少ない場合 0.3~0.7g<200>. ・ 散布. 継 続) ・ 低薬量2回処理における効果 の年次変動について. ・ 実証試験での確認. ・ 翌年の芝に対する影響につ いて. ・ 各芝種における連年処理の 確認. ・ ケンタッキー ⁻ ブ ⁻ ル ⁻ グ ⁻ ラスに対する 効果、薬害の確認.